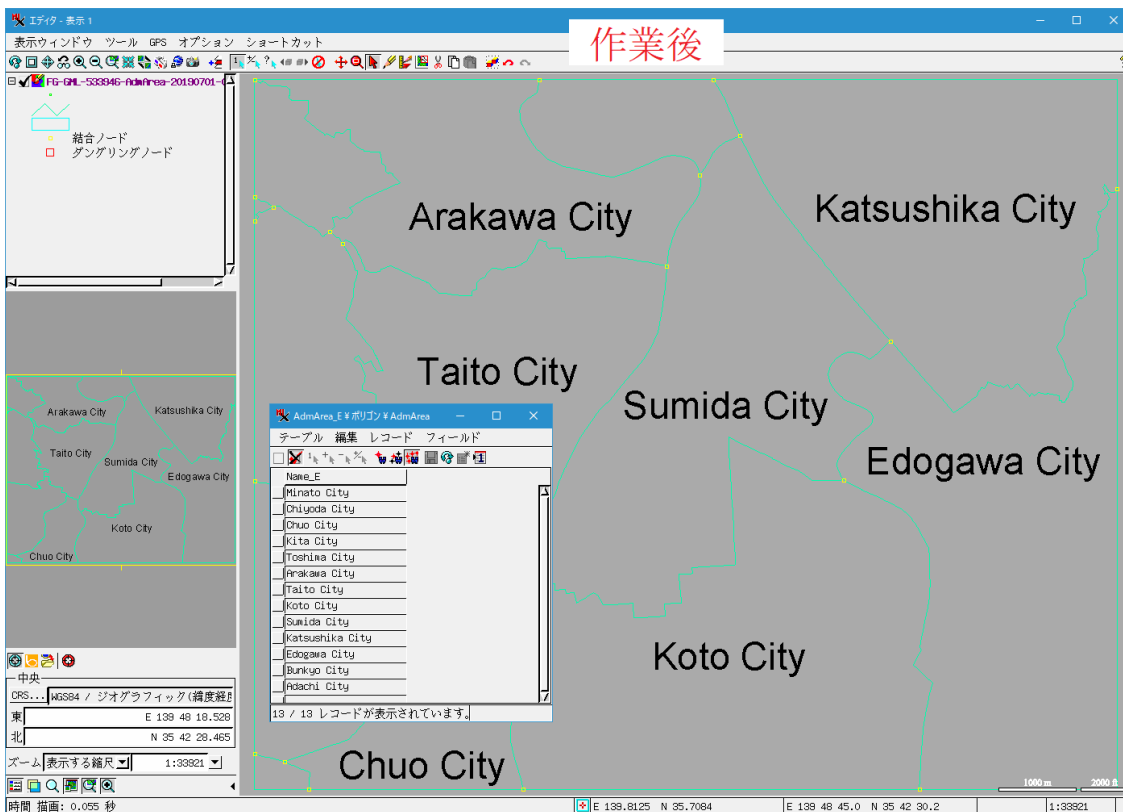
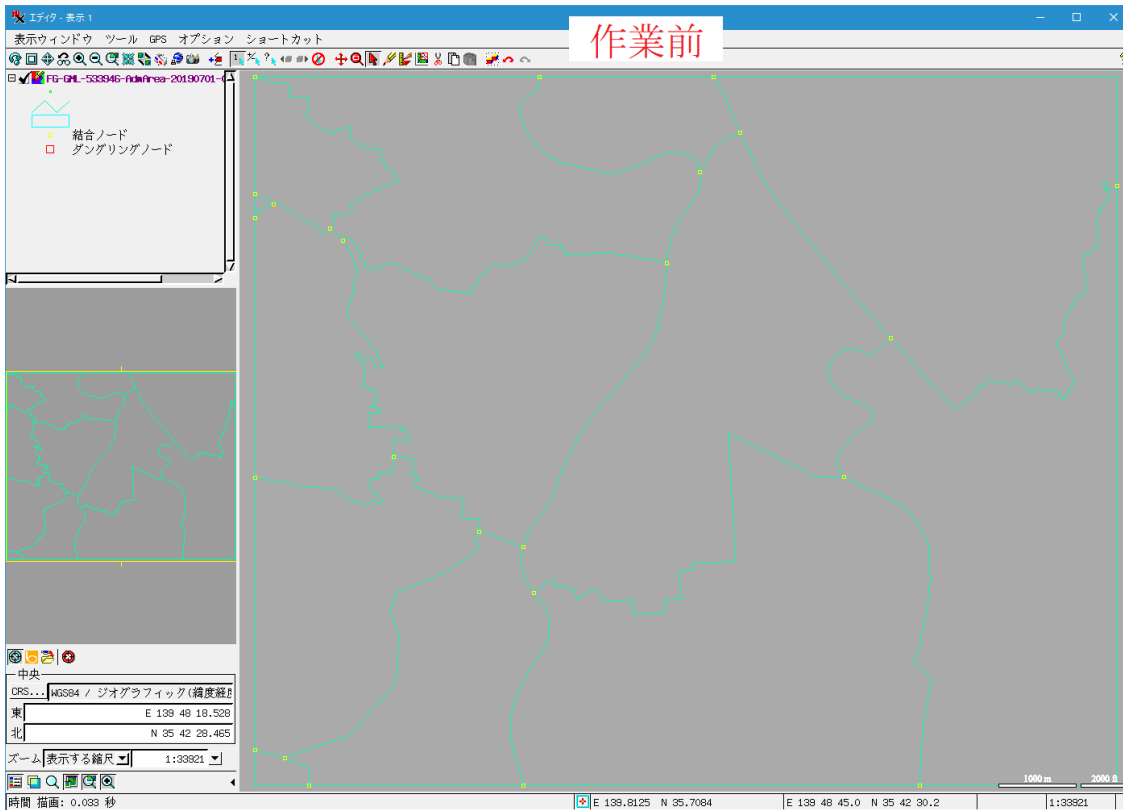
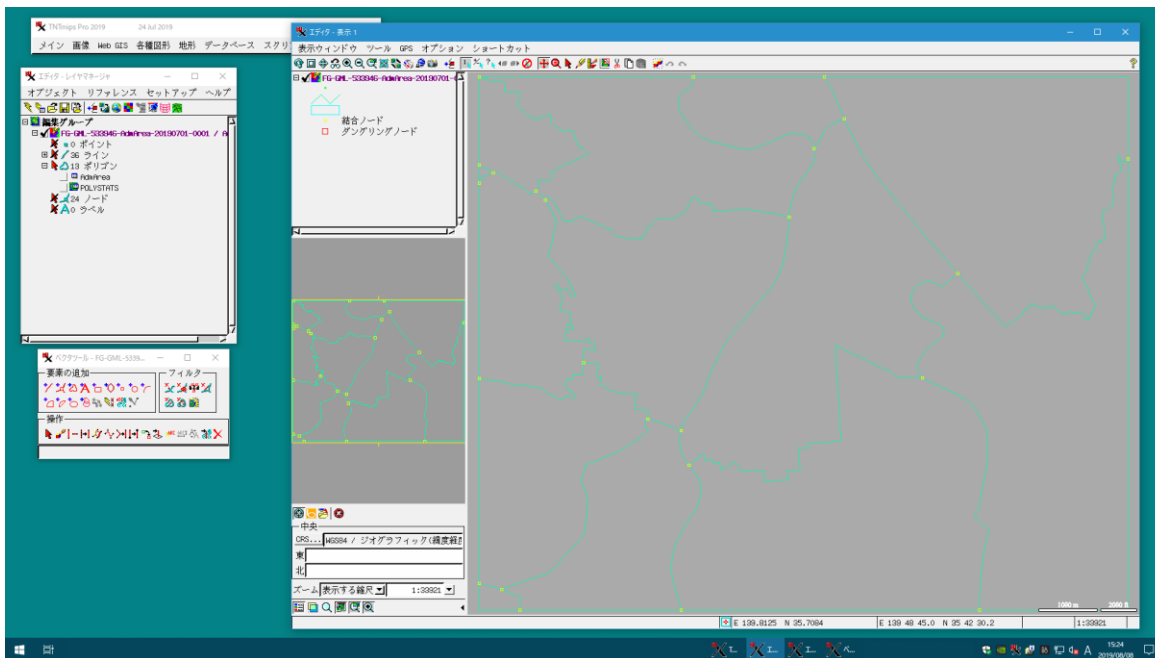


新規テーブルを作成し、ポリゴンを選んで対話的に属性を入れていく方法

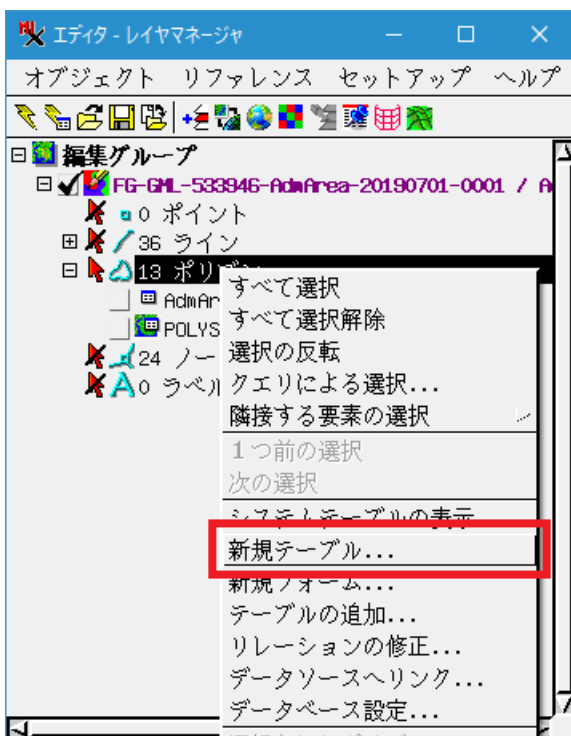
ここでは、東京 23 区のポリゴンに名前を入力し、それらをラベルで表示します。



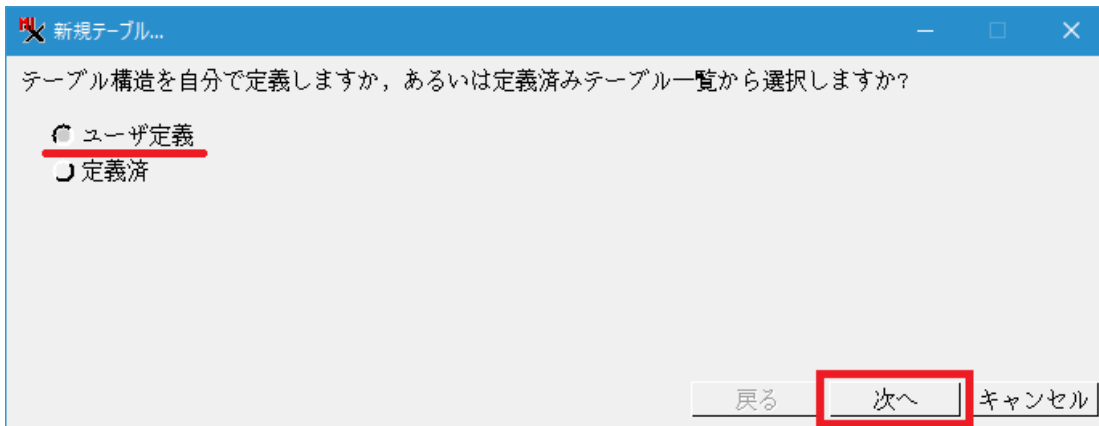
▼まずはベクタを表示します。



▼ポリゴン列の上で右クリックして[新規テーブル...]を選びます。



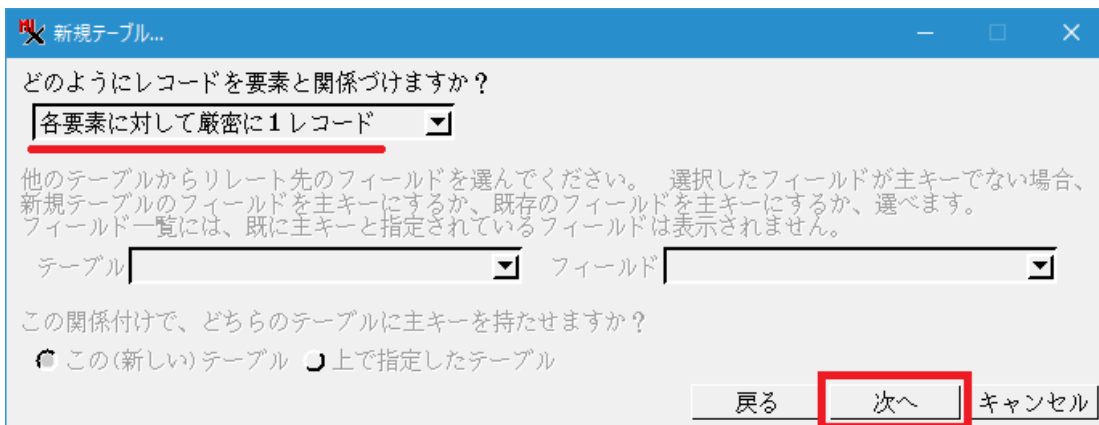
▼"ユーザ定義"のまま、[次へ]を押します。



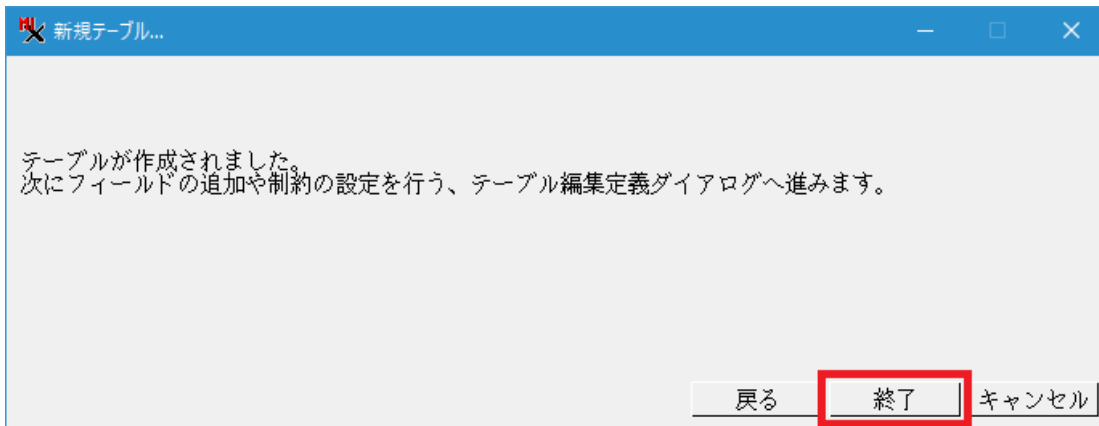
▼テーブルの名前を入れます。[次へ]を押します。



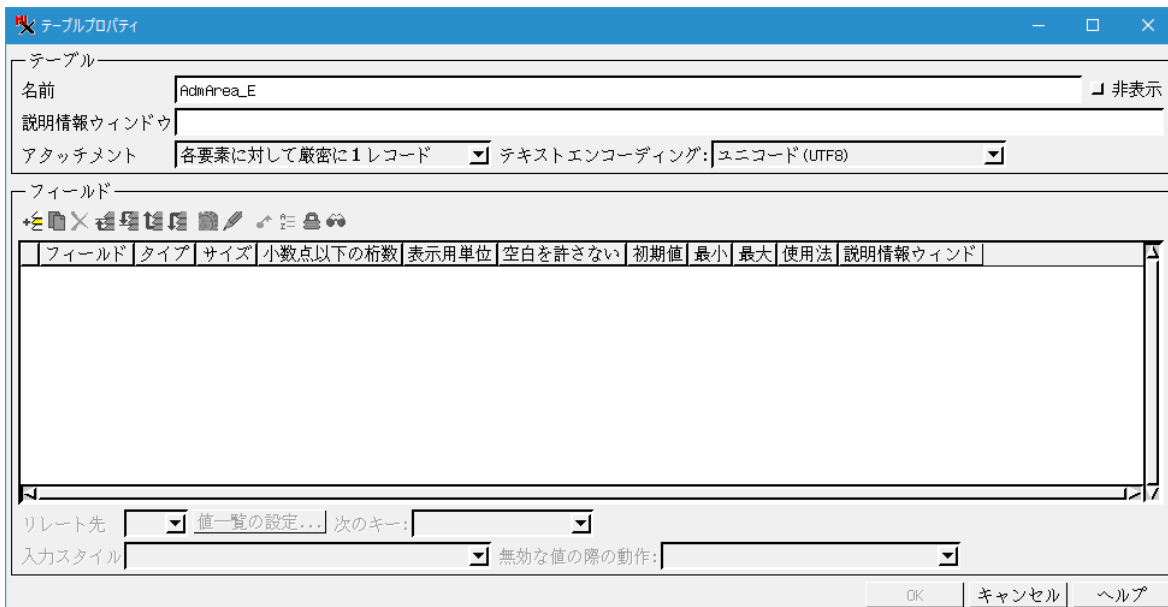
▼関係づけのタイプは"各要素に対して厳密に1レコード"を選びます。[次へ]を押します。



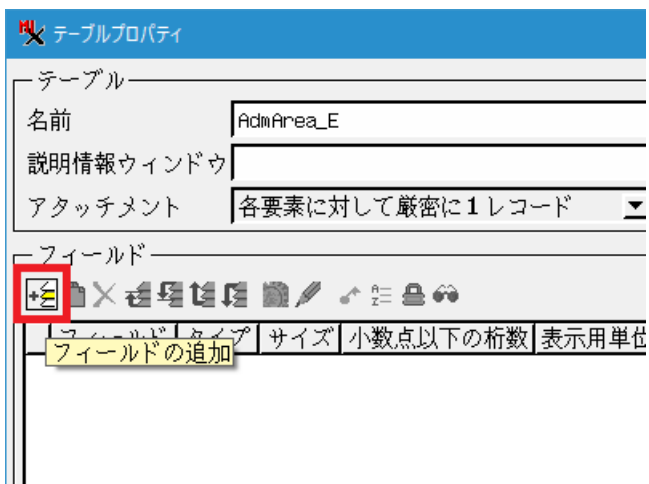
▼[終了]です。



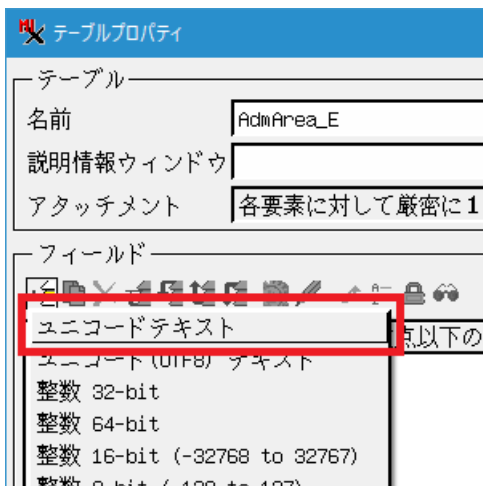
▼[テーブルプロパティ]ウィンドウが出ます。



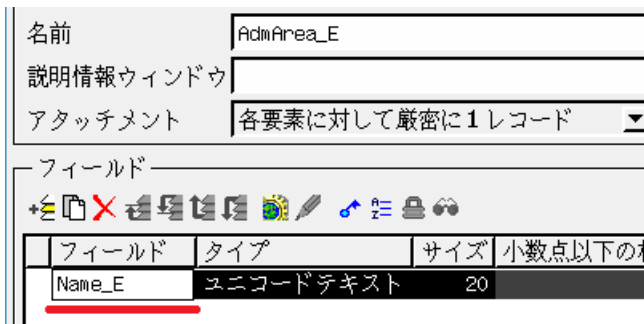
▼[フィールドの追加]ボタンを押します。



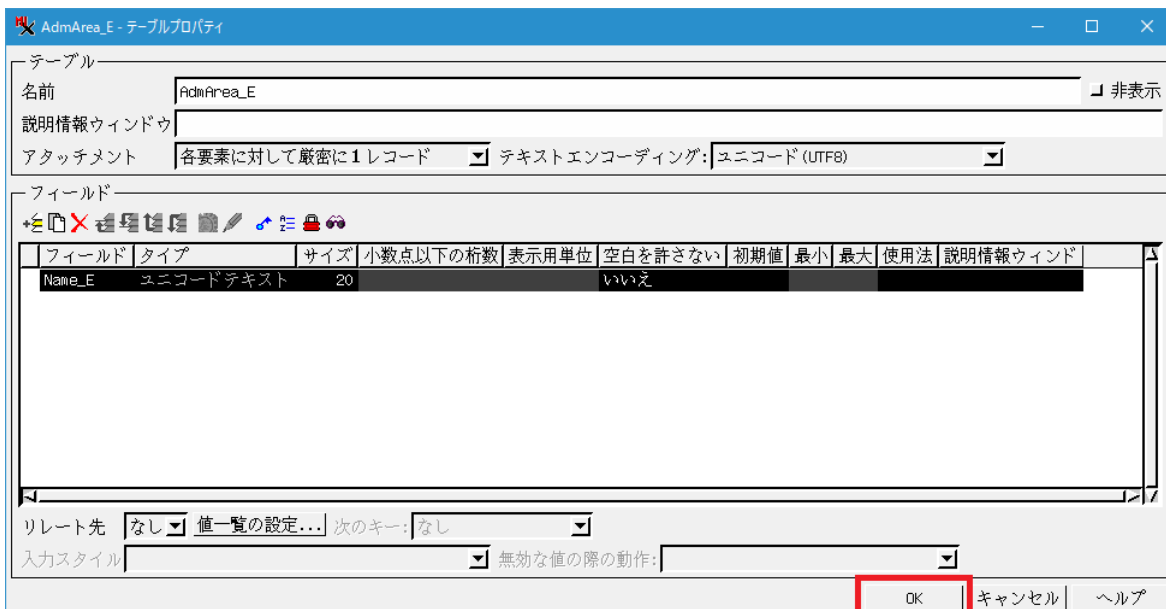
▼"ユニコードテキスト"を選びます。



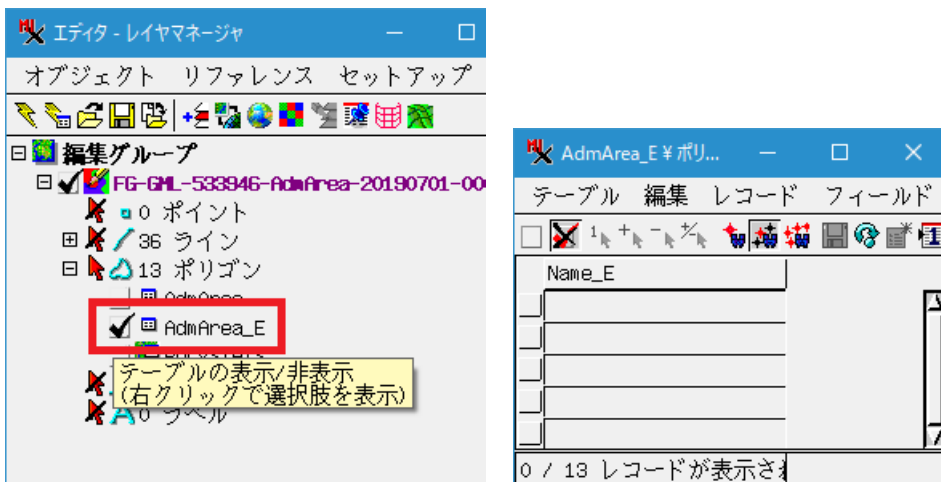
▼フィールドの所でクリックしてフィールド名を入力します。



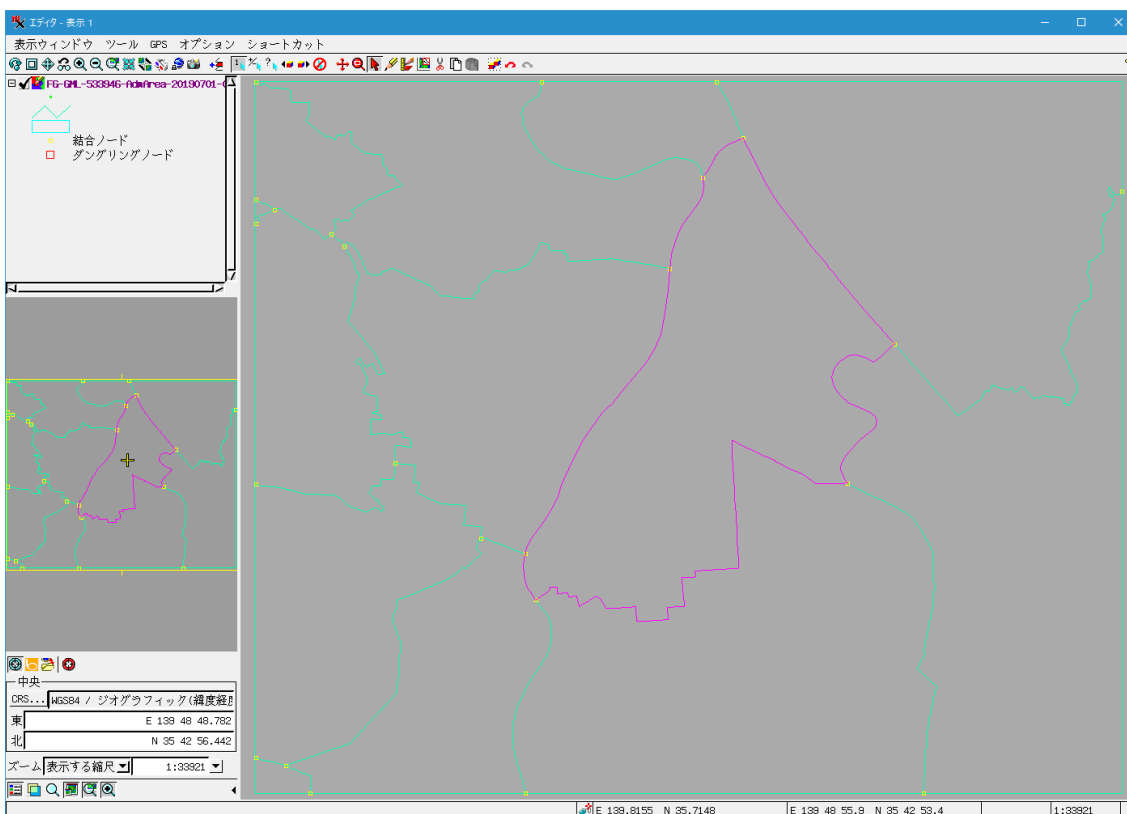
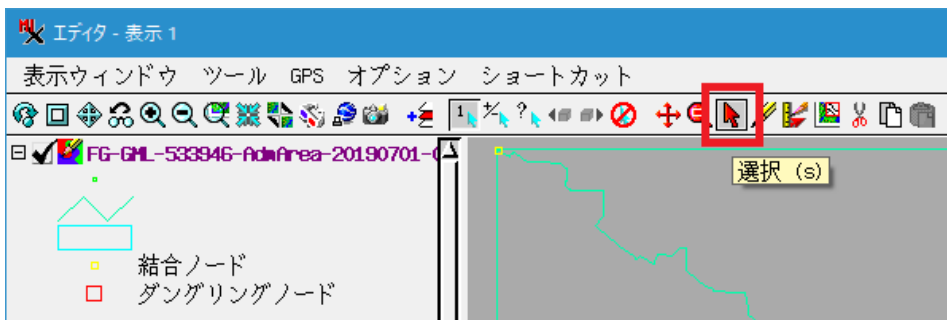
▼[OK]ボタンを押して、[テーブルプロパティ]ウィンドウを閉じます。



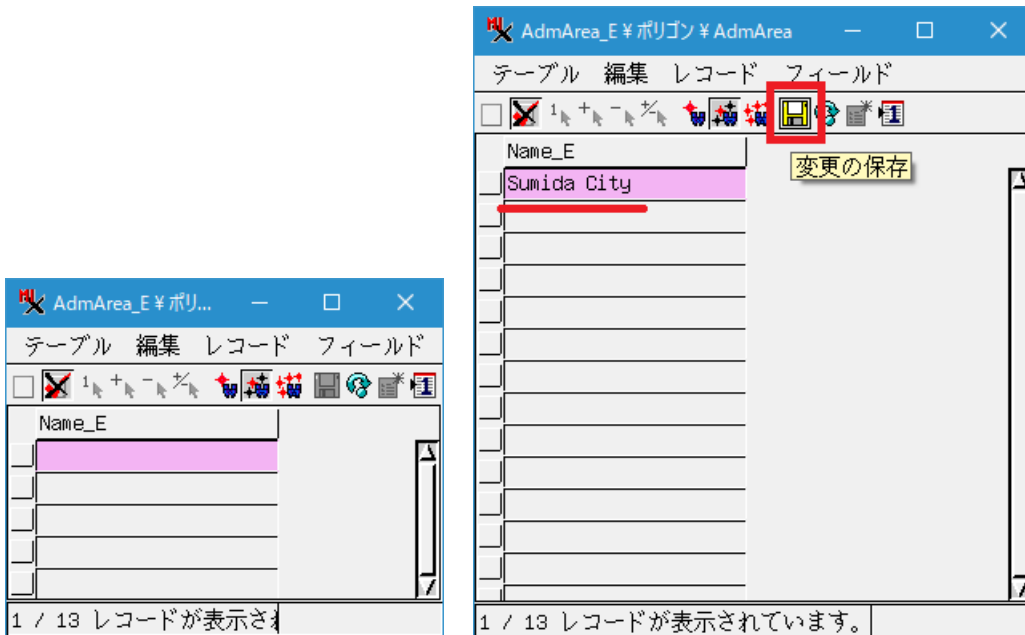
▼作成したテーブルの先頭のチェックボックスをクリックして、テーブルを開きます。



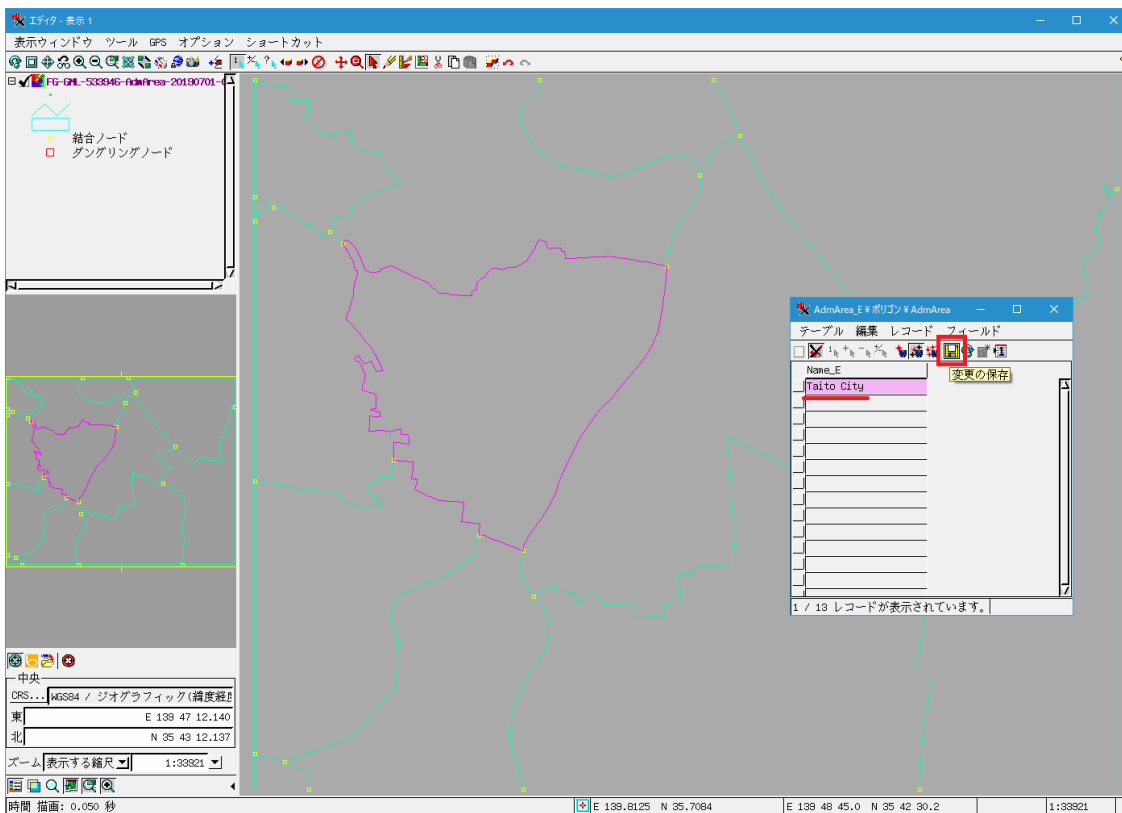
▼表示ウィンドウのツールバーから赤矢印の[選択]ボタンを押して、属性を入れたいポリゴンをクリックします。



▼該当するレコードが選ばれてきますので、そこに該当する属性を入力し、[変更の保存]ボタンを押します。



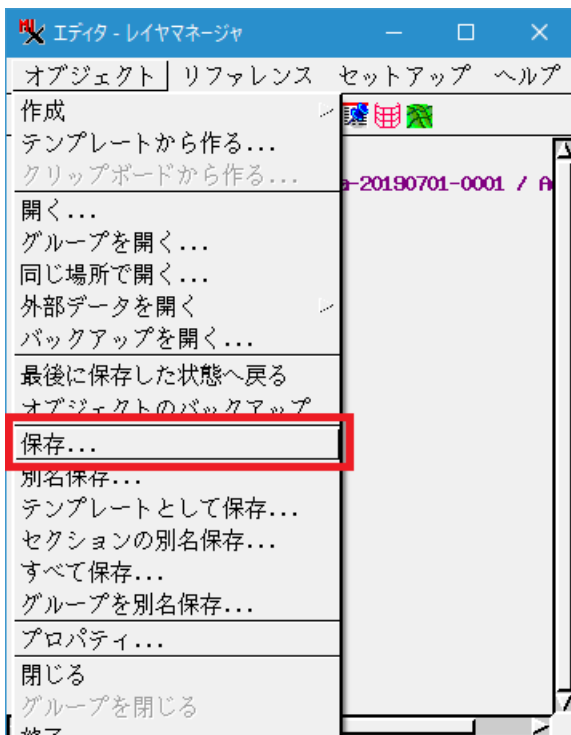
▼順次、属性を入れたいポリゴンを選んでいき、対応するレコードに入力していきます。



▼こちらが 13 個のレコードに属性をすべて入力したテーブルになります。



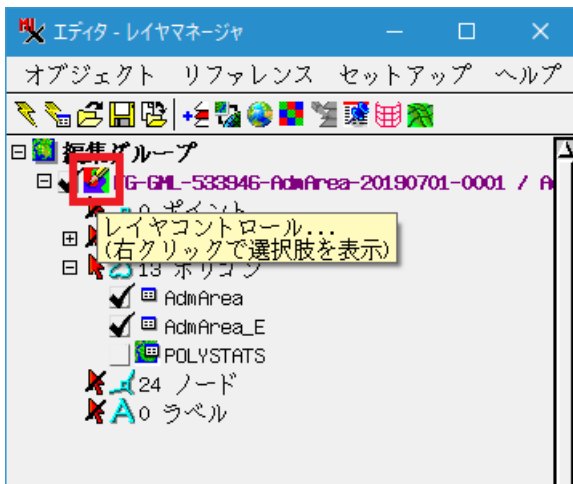
▼上記作業は、[表示]、[編集]メニューのいずれでも可能です。[編集]でベクタを編集状態で開いた場合は最後に保存をしてください。



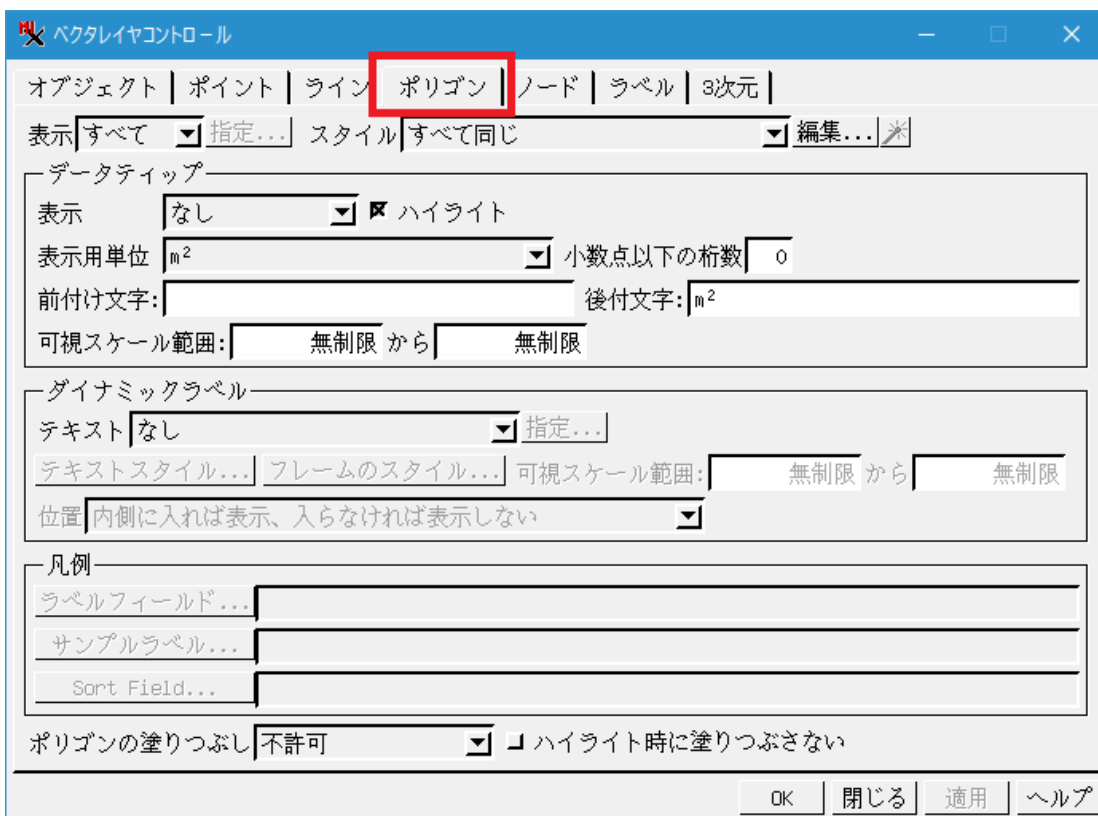
▼[表示]の場合は、レコードに値を入力した時点で自動保存されますので、保存は不要です。

ダイナミックラベルの表示

▼ベクタのアイコンをクリックし、[ベクタレイヤコントロール]ウィンドウを開きます。



▼[ポリゴン]タブを開きます。



▼ダイナミックラベルのテキストを[属性を使用]にします。

可視スケール範囲: 無制限 から 無制限

ダイナミックラベル

テキスト なし 指定...

テキスト **属性を使用** 可視スケール範囲: 無制限 から 無制限

位置 内側にスケラドを使用

▼[指定...]ボタンを押すと、[ラベル属性の選択]ウィンドウが開きます。

可視スケール範囲: 無制限 から 無制限

ダイナミックラベル

テキスト **属性を使用** **指定...**

テキストスタイル... フレームのスタイル... 可視スケール範囲: 無制限 から 無制限

位置 内側に入れば表示、入らなければ表示しない

▼テーブルとフィールドを選択し、[OK]ボタンを押します。

ラベル属性の選択

テーブル

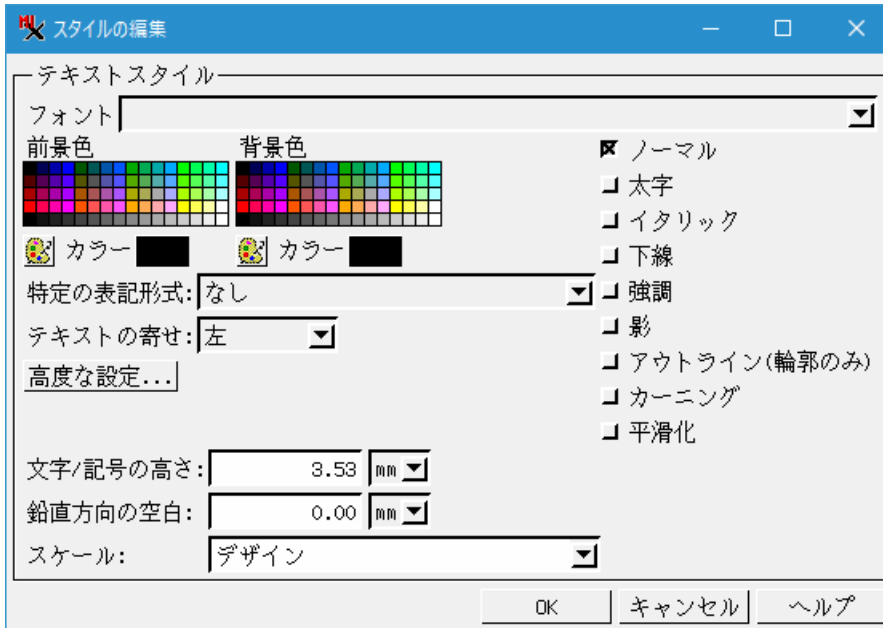
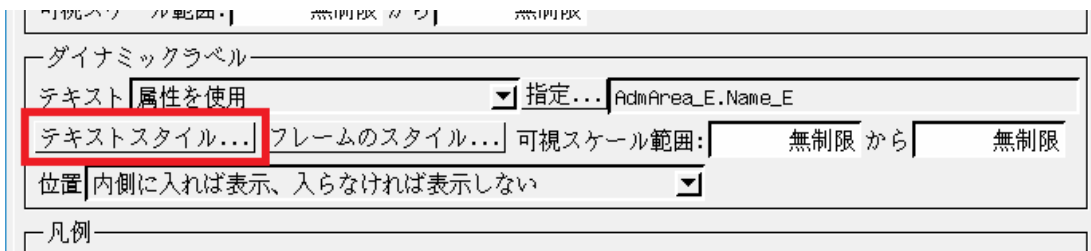
Table Nam	レコード	アタッチメント	説明情報ウイ
AdmArea	13	不明	Imported from
AdmArea_E	13	Exactly 1 record / element	
Internal	13	Exactly 1 record / element	
POLYSTATS	13	Exactly 1 record / element	標準ベクタポ

フィールド

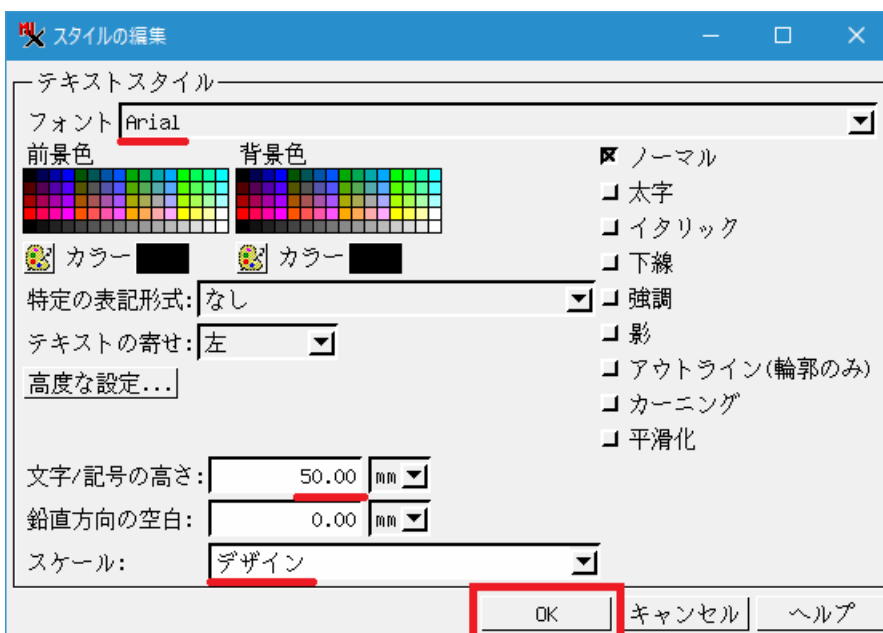
フィールド名	タイプ
Name_E	ユニコードテキスト

OK キャンセル ヘルプ

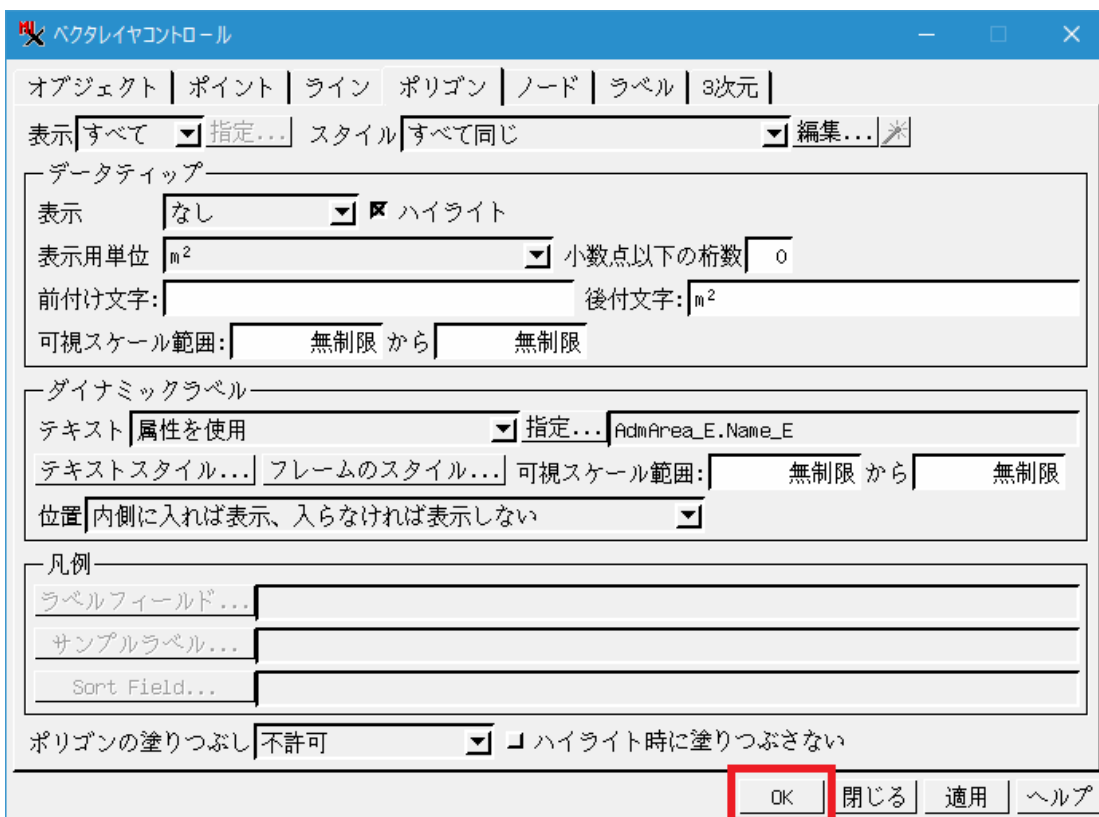
▼[テキストスタイル...]ボタンを押すと、[スタイルの編集]ウィンドウが開きます。



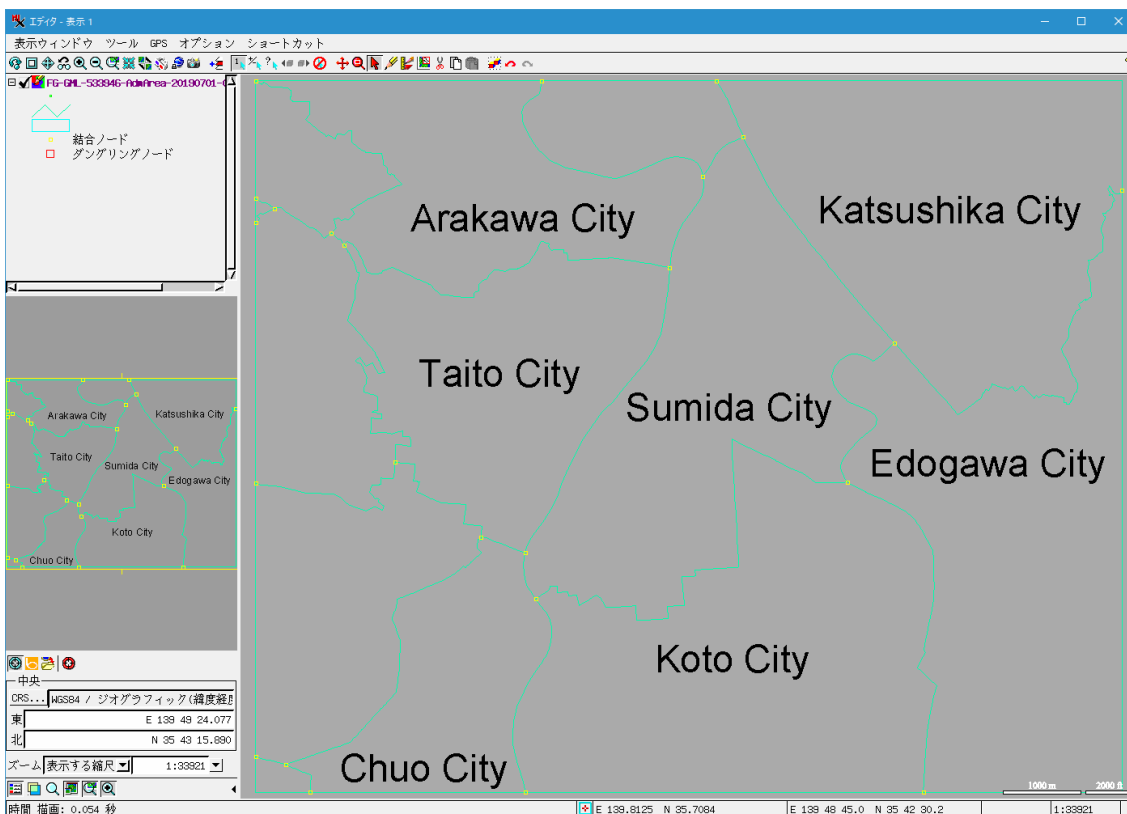
▼項目を適宜変更し、[OK]ボタンを押します。



▼[OK]ボタンを押して、[ベクタレイヤコントロール]ウィンドウを閉じます。



▼ダイナミックラベルが表示されます。



2019.8.19 (株)オープン GIS